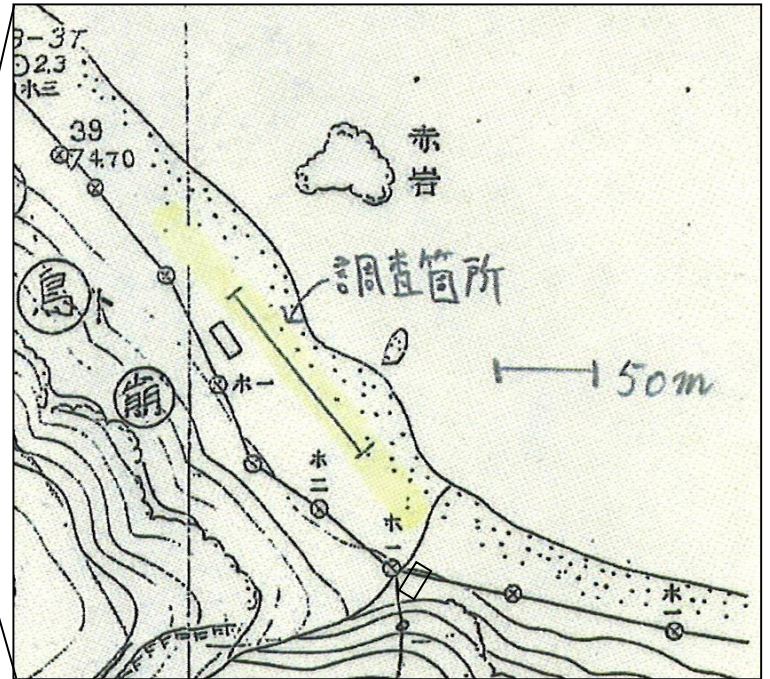
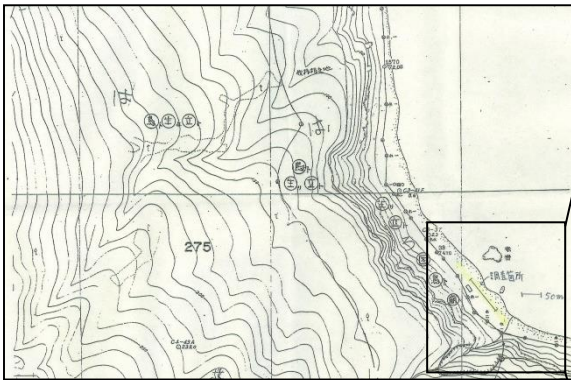


赤岩植生調査結果

1. 実施日 平成26年8月14日

2. 調査方法・地点

赤岩の海岸線に100mの区間を設定し、10mごとに1辺3mの正方形のプロットを設け植生の調査を行った。プロット設置、植物の記録、判別は知床森林生態系保全センター（林野庁）の職員3名に協力をいただき実施した。



3. 調査結果 確認できた植物

アキタブキ、イタヤカエデ、エゾオグルマ、エゾノカワラマツバ、エゾノヨモギギク、オオイタドリ、キリンソウ、コウゾリナ、シコタンハコベ、トドマツ、ハマエンドウ、ハマベンケイソウ、ヒメスイバ、ホウノキ、ヤマブドウ、その他（植物名の判別が困難な植物数種）

4. 植生への影響

- ・今回の林野庁の協力もとの調査では、ツアー客が通行した箇所にはほとんど植物は無く、植生への影響があるとは考えにくい。むしろ外来種侵入の予防を徹底したほうが良い。また、モニターツアーの際、林野庁に同席いただきご協力いただくことになった。
- ・あと数年モニタリングを続けて影響が見られないようであれば、中止を含めてモニタリングの必要性を検討することになった。
- ・浜及び植生の変化を定点記録するなど、このツアーを岬の記録に活用することを検討する。

（かつての赤岩地区 長谷川番屋前）



（H26.8.14 赤岩地区 長谷川番屋前）

